

所管からの行政報告

1. 社会教育課

①「令和6年滝川市はたちのつどい」を開催しました。

1月7日、三浦華園で「滝川市はたちのつどい」を開催しました（参加者数 217名）。

第1部は式典、第2部はアトラクションとして、滝川の特産物などが当たる抽選会や恩師によるビデオメッセージを実施し、参加者は久しぶりに再会した友人と楽しいひとときを過ごしていました。

②「アダプテッド・スポーツ出前授業」を開催しました。

江部乙小学校及び東小学校で「アダプテッド・スポーツ出前授業」を開催しました。

アダプテッド・スポーツとは、ルールや道具を工夫することで、障がいの有無や性差、年齢差を問わずに誰もが楽しむことのできるスポーツのことで、講師には、北海道教育大学岩見沢校アダプテッド・スポーツ研究室 大山祐太准教授をお招きし、障がい体験を兼ねたゲームやスポーツなどを体験しました。

■2月8日：江部乙小学校（5名）

■2月21日：東小学校（74名）

2. 図書館

①「えがしらみちこ絵本パネル展『いまのきもちはどうなる？』」を開催しました。

2月2日～2月28日の期間で、えがしらみちこ絵本パネル展『いまのきもちはどうなる？』を開催しました。出版社のKADOKAWAさんにご協力をいただき、道内5カ所の公共図書館で順次開催されています。この作品は、子どもの気持ちを引き出す絵本と言われていて、この絵本をモチーフにした参加型企画「いまのきもちにちかいいろをはってみよう」も併せて実施しました。丸くカットされた色紙に、なぜその色を選んだかを書いて貼ります。親子連れだけでなく、中高生の参加も多く見られ、161名の参加がありました。

②出張おはなし会を実施しました。

1月10日～3月4日に出張おはなし会を計7回実施し、182人が参加しました。

■東地区学童クラブ（1回、62名）

■中地区学童クラブ（1回、21名）

■たんぼぼの家（2回、38名）

■ニチイケアセンター滝川（2回、36名）

■サービス付き高齢者向け住宅ゆい（1回、25名）

③「2024年版 カレンダーリサイクル展」を開催しました。

1月5日～2月9日の期間、企業やご家庭で不用になったカレンダーをご提供いただき、市民に配布する「2024年版カレンダーリサイクル展」を開催しました。図書館ホームページをご覧になった全国の企業や個人の皆様から3,772部のカレンダーが集まり、全て残らずお持ちいただきました。カレンダーをもらいに来て利用登録をされて行く方も見られ、図書館へ足を運ぶ機会になりました。

④展示「就活サポート BOOK 大集合！！」の実施及びチラシ「就活サポート BOOK」を作成・配布しました。

就職活動へ向けて図書館の蔵書を有効活用していただくために、3月28日～4月24日の期間に、展示「就活サポート BOOK 大集合！！」を実施しました。

また、併せてチラシを作成し、図書館をはじめ國學院大學北海道短期大学部、市内高等学校、ハローワーク滝川へ配布しました。（配付先：5カ所、配布枚数：900枚）

⑤学校との連携による子どもの読書活動支援事業「読書アルバム」500冊達成者教育長表彰を実施しました。

学校との連携による子どもの読書活動支援事業の一環で、読書の習慣化を目的に市内小学校に「読書アルバム」という冊子を配付しています。その「読書アルバム」を活用して、児童9名が1年間で500冊の本を読破しました。3月26日に対象児童へ、教育長より賞状と副賞を授与しました。年間を通じて、冊子1冊（100冊読破）達成毎に、学校を通じて賞状をお渡ししていて、令和5年度の達成者への賞状配付枚数は合計113枚でした。

3. 美術自然史館・こども科学館・郷土館

【美術自然史館】

國學院大學北海道短期大学部「はる展」を開催しました。

國學院大學北海道短期大学部の学生のみなさん及びオープンカレッジ受講生のみなさんの絵画・書道等の作品を展示した「第21回 はる展」を開催しました。

会場では作品展示の他、オープンカレッジの「大人のためのクラシックピアノ」受講生によるコンサートや幼児・児童教育学科によるワークショップ「かんたんおもちゃをつくろう!!」も行われました。

●会 期 令和6年3月3日～10日

●来場者 587人

【こども科学館】

「冬休みこどもウィーク」を開催しました。

こども科学館は12月から2月まで冬期休館していますが、冬休み期間中の1月4日から7日までの4日間、「冬休みこどもウィーク」として無料開放しました。期間中「化石レプリカ作り」、「わくわくサイエンス」等の各種行事も実施しました。

●来場者 247人